

# キャリア

## 勤労観

小学校高学年

中学校

高校

社会

総合

学級活動

プロフェッショナル 仕事の流儀  48分

## 開拓せよ、最強の一本釣り カツオ漁師 明神学武

(2014年放送)

### この番組の良さ



#### 開拓者であれ

第83佐賀明神丸を率い、ここ10年で4度の水揚げ日本一を記録する若きリーダー・明神学武(みょうじんまなぶ)。

明神が漁に挑むとき、心にとどめているのは「開拓者であれ」という信念です。カツオは泳ぐルートを変えるため、見つけるのは困難を極めます。明神は型破りの独自の方法で、潮の流れや海水温を徹底的に研究します。ハイテク機材と緻密な分析を武器に、新たな漁場を開拓し、カツオ一本釣りの一人勝ちを狙います。

#### 支えてくれる家族

明神の父は、水揚げ日本一を6度達成し、豪快な人柄で知られた名漁労長でした。だが、父とは対照的におとなしい性格の明神は、父から日本一の船を受け継いで漁労長になったものの、水揚げが低迷し苦悩しました。

そんな時、支えてくれたのは妻でした。妻の言葉をきっかけに、独自の漁を突きつめていったのです。

### 番組活用のポイント

#### 漁業について学ぶ

世界有数の水産物消費国である日本。日本食の代表でもある寿司や刺身など、古くから魚料理を楽しんできました。また、季節にまつわる魚の言葉などもあり、魚は日本の風物詩にもなっています。しかし、最近はこの巨大消費国である日本も、危機的状況を迎えています。

若い人を中心とした食生活の変化による魚離れ。また、生態系そのものを破壊してしまう地球温暖化や環境悪化、乱獲によって起こる水産資源そのものの減少が原因としてあげられます。さらに、日本の漁業の衰退に追い打ちをかけているのが、漁師の高齢化と担い手の減少です。

本番組を視聴することで、日本の特徴的な第一次産業である漁業について学ぶとともに、日本の文化や食についても見直すことができます。そして、日本の伝統を大切にすることを培う学習へとつなげていくことができます。

#### リーダーということは

働くということは、自分の家族を支えるということです。会社や団体のリーダーともなると、雇っている人、その家族も含め、たくさんの人の生活や思いをも背負っています。この番組から経営者としての考え方や行動の仕方について、学ぶことができます。

#### 職業観や勤労観の涵養に

さまざまな機材を駆使し、情報を分析し、カツオを追い詰めていく最新の漁から、職業観の育成につながると考えます。また、自分のため、家族のため、そしてともに働く人たちのために一所懸命になる姿から、何のために働くか、働くことと生きがいについて考えることができ、勤労観の育成にもつながると考えます。

学習展開例

対象校種：小学校 授業時間 45分×2



海陽町立海部小学校  
教諭 溝内正剛

教諭

# 最新の漁業とは 怖がるな、ドキドキしていけ

時間配分	学習活動	教師の支援
10分	①魚や釣り、好きな魚料理、また漁業について知っていることを発表する。	○番組視聴がスムーズにいこう、また、漁業に興味をもてるよう、自由に発表させる。
25分	②番組を視聴しながら考える。  <p><b>視聴</b> ハイテク機材を駆使し、4度の水揚げ日本一を記録する若き天才・明神学武。(開始～3分8秒)</p>  <p>漁師としての一日の行動や、船での生活の場面。(3分8秒～19分30秒)</p>	○開始から3分8秒の場面で一時停止をする。 ○現在の最先端の漁業について確認をする。 ・船について。 ・機材について。 ・漁について。  ○漁師の仕事について考え、船での生活の様子、家族とのつながり、漁労長の責務についても触れる。 ○19分30秒の「家族みたいなもんやき。」の言葉の後、一時停止をする。
10分	③番組を半分視聴後、感想を話し合う。 ・漁師の仕事についてわかったことを発表する。 ・船での生活について考え、自分だったらどう思うか意見を出し合う。 ・家族とのつながりや、リーダーの役割についても考える。  ④次時の学習内容を知る。	○自由に意見が言えるよう配慮する。 ○授業前半は、漁業への職業観が養われるよう考え、授業を展開する。 ○自然が相手の仕事なので厳しい部分もあるが、仲間や信頼関係の大切さ、仕事の面白さややりがいなどに触れ、大自然の中で働くことのすばらしさについて考えさせる。  ○次時への課題(努力していることやリーダーとしての資質)を投げかける。
5分	①前時の学習を振り返る。	○前時の学習を振り返り、本時の学習につなげる。
30分	②番組を視聴しながら考える。  <p><b>視聴</b> 魚が釣れずに悩み、リーダーとしての責任の重さを感じる場面。(19分30秒～29分47秒)</p>  <p>カツオの記録的不漁を克服していく場面。(29分47秒～最後)</p>	○19分30秒あたりから視聴を再開する。 ○魚が釣れずに悩む時の心情や、家族の温かい言葉や行動について考えながら視聴するよう促す。 ○29分47秒の「その信念はこの時揺るぎないものになった。」のナレーションの後、一時停止をする。  ○釣れない困難な状況をいかに克服していくのかに注目して、番組を視聴するよう声掛けをする。 ○番組の最後まで視聴を行う。
10分	③番組視聴後、感想を話し合い、意見をまとめる。 ・魚が釣れずに悩む時の心情について考える。 ・苦しい状況をどう乗り越えていったのか、話し合う。  ④振り返りと、まとめをする。	○自由に意見が言えるよう配慮する。 ○授業後半は、勤労観が養われるよう考え、授業を展開する。 ○家族の温かい言葉や行動について考えさせる。 ○現在の状況を詳しく分析し、打開策を考えていく姿に注目するよう促す。  ○自分を信じ、自分の特長を活かし、信じた道を突き進むことのすばらしさについて考えるよう促す。

キャリア